

武道科学研究センター一年報

第2号(平成元年度)

目次

発刊のことば ●日本武道館理事長・武道科学研究センター所長 江崎眞澄

I. 武道科学研究センター運営委員会	5
II. 平成元年度(1989.4~1990.3)のプロジェクト研究について	11
(1) 武道におけるターミノロジー(人文科学系)	11
1. 剣道技術用語の研究 ●研究代表者 村川久子	
2. 五輪書について ●研究代表者 村川久子	
(2) 武道思想の変遷(人文科学系)	19
1. 近世剣術における修行論の成立とその展開 ●田中 守	
(3) 武道体験の身心論に関する生理・心理学的研究(自然科学系)	26
1. 黙想研究への脳波の活用について ●鷹野健次	
2. 武道熟練者黙想時の姿勢と脳波 ●研究代表者 石塚正一	
3. 脳波からみた黙想と安静の違い ●研究代表者 佐久間春夫	
4. わが国近代の民間修養法・健康法における 調身・調息・調心の基礎的検討 ●田邊信太郎	
(4) 武道における傷害の予防に関する研究(自然科学系)	41
1. 柔道における膝傷害と下肢筋力の関係 ●研究代表者 黄川昭雄	
2. 自然体の研究 一運動と腰部傷害の関係からの解析 ●研究代表者 黄川昭雄	
3. 剣道における踵障害と衝撃吸収材の効果 ●研究代表者 山本利春	
4. 柔道における足関節傷害に対する包帯法と テーピングの比較 ●研究代表者 山本利春	
(5) 運動が生体におよぼす影響(自然科学系)	55
1. ラットにおける下腿三頭筋のアキレス腱 移行部の組織学研究 ●研究代表者 伊藤金得	
2. 持久的トレーニングが心筋及び骨格筋 ミオシンタイプ変化に及ぼす影響 ●研究代表者 成澤三雄	
3. 武道および長距離走トレーニングが 体内鉄動態におよぼす影響 ●研究代表者 坂本静男	

4. 運動及び減量が女子の生体に及ぼす影響について

●研究代表者 佐藤みどり

Ⅲ. 武道科学研究センターを活用しての行事…………… 75